

記事を読んで、問いに答えなさい。

解答例

2020年8月26日朝刊

25年大阪・関西万博ロゴ決定

細胞つなぎ「いのちの輝き」表現



2025年大阪・関西万博の公式ロゴマーク。右は喜ぶ「TEAM INARI」代表のシマダタモツさん
＝25日午後、大阪市

2025年大阪・関西万博の運営主体「日本国際博覧会協会」は25日、大阪市で記者会見し「いのち輝く未来社会のデザイン」を表現する公式ロゴマークを発表した。最終候補5作品のうち、細胞をイメージした赤い円形をつなげた作品を選んだ。

円や楕円(だえん)など形状や大きさが異なる細胞が環状に連なるキャラクターで、70年万博のシンボルマークの桜をモチーフにした愛らしい目のような細胞核が特徴。

作成したのは、大阪市のデザイン事務所のメンバーらによる「TEAM INARI」。代表のシマダタモツさん(55)は、70年万博の象徴である故岡本太郎作の太陽の塔を挙げ「強烈に印象に残っていて、そのインパクトを表現したかった」と涙ながらに語った。

①「公式ロゴマーク」が発表された「大阪・関西万博」は何年に開催されるのか。

(2025)年

②「公式ロゴマーク」はどのようなデザインを表現したものか。記事中から抜き出して書きなさい。

(「いのち輝く未来社会のデザイン」)

③写真の「公式ロゴマーク」からどのような印象を受けるか。記事中の説明も参考にして、あなたが受ける印象を30字以内で書きなさい(句読点を含む)。

(例) 大きさや形、方向が異なる様々な個性が一つになっている印象。(29字)

様々な人や国々が輪を作って生きていこうとする印象。(25字)

動きのある太陽が集まり、伸びていこうとする印象。(24字) など

④1970年に開催された万博(日本万国博覧会)の象徴で、故岡本太郎氏が制作した建造物(芸術作品)を何と呼ぶか。

(太陽の塔)

年 組 名前